

第3回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

次 第

日 時 平成26年1月31日（金）

10:00～

場 所 本庁舎4階政策会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の進捗状況と課題について

（2）平成26年度に推進する方策について

4 閉 会

第3回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

資料

平成26年1月31日(金)

目次

●議 事

(1) 「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の
進捗状況と課題について

....P1～16

(2) 平成26年度に推進する方策について

....P17～26

議事(1)

「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の 推進状況と課題について

地下鉄7号線延伸＆浦和美園～岩槻地域成長・発展に関する最近の動向(前回以降)その1

- 8月29日 第2回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 開催
- 9月13日 **地下鉄7号線延伸推進に係る国会議員勉強会 開催**
(地下鉄7号線延伸に関する現状と課題について)
- 9月20日 **浦和美園駅～岩槻駅間快速バスの運行開始**
(浦和美園駅・目白大学・岩槻駅の3箇所を停車する快速バスとして、平日、土曜、日・祝日に1日8往復運行)
- 9月25日 **市議会地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 開催(都市局と合同)**
(議題:地下鉄7号線の延伸について、みそのウイングシティについて、岩槻まちづくりマスターplanについて)
- 9月29日 **浦和美園インフォメーションセンター 開設**(浦和美園駅改札階)
(地域の魅力発信、定住・交流人口増加など、地域の成長・発展と埼玉高速鉄道の利用促進を目的に開設)
- 9月29日 **3区連携イベントふれあいウォーキング 開催(652名参加)**
(浦和美園駅～岩槻駅を結ぶ旧日光御成道を通る見沼・緑・岩槻区の3区連携によるふれあいウォーキング)
- 10月 3日 **県議会サッカー振興議員連盟 知事要望 ... P4 参照**
(埼玉高速鉄道を浦和美園駅から埼玉スタジアム駅(仮)まで延伸するよう求める要望)
- 10月11日 **県議会地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 知事要望 ...P4参照**
(地下鉄7号線の早期延伸実現を求める要望)
- 11月 3日 **人形のまち岩槻人形供養祭&さいたま市区制10周年記念事業・城下町岩槻鷹狩り行列**
〔 人形供養祭: 岩槻を代表する行事で、岩槻公園の人形塚前で行われ、古い人形たちを荼毘にして供養。
城下町岩槻鷹狩り行列: 江戸時代の鷹狩り行列を再現し、観光・産業の振興及び地域交流の拡大を図る。〕
- 11月 3日 **人形供養祭・城下町岩槻鷹狩り行列シャトルバス(253名乗車)**
(地域の魅力発信、定住・交流人口増加など、地域の成長・発展と埼玉高速鉄道の利用促進を目的に運行)
- 11月 3日 **いわつき街並み観光ツアー 開催[主催:期成会] (87名参加)**
(城下町として栄えた岩槻の歴史ある街並みを散策、老舗料亭での食事、鷹狩り行列見学ツアーを開催)

地下鉄7号線延伸＆浦和美園～岩槻地域成長・発展に関する最近の動向(前回以降)その2

- 11月20日 地下鉄7号線建設誘致期成同盟会 県要望**
(塩川副知事、細田県議会議長対応:蓮田市長、議長、さいたま市木下副市長、萩原議長等出席)
- 11月25日 地下鉄7号線建設誘致期成同盟会 国要望**
(高木国土交通副大臣、瀧口鉄道局長対応:蓮田市長、議長、さいたま市木下副市長、神崎副議長等出席)
- 12月25日 市議会地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 国要望 … P4参照**
(地下鉄7号線の早期延伸と埼玉スタジアム駅(仮)までの先行整備を求める要望)
- 1月21日 第3回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議作業部会 開催**
- 1月29日 第2回 7号地域成長・延伸実現マネジメント会議 開催**
(議題:地域の成長・発展に資する方策 & 鉄道関連の延伸実現に資する方策について、H26年度予算について)
- 1月31日 第3回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 開催**

今後の予定

- 2月23日 第4回 まちづくり勉強会 開催 (第1回H25.6/22、第2回8/25、第3回11/17)**
- 2月22・23日 まちかど雑めぐりシャトルバス運行**
3月1・2日 (埼玉高速鉄道線の利用促進等を目的に浦和美園～イベント会場間を運行)

県議会議連、市議会地下7特別委員会の要望活動

県議会サッカー振興議員連盟 埼玉県知事要望(H25.10.3)

(抜粋)

オリンピック開催都市として、観戦者・観光客に対するおもてなしを充実させるために、さらには、利便性を向上して今後も日本サッカーの聖地として君臨し続けるためにも、早急に、埼玉高速鉄道を浦和美園駅から埼玉スタジアム駅(仮)まで延伸するよう、切に要望する。

埼玉県議会サッカー振興議員連盟 会長 野本 陽一

県議会地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 埼玉県知事要望(H25.10.11)

(抜粋)

1. 地域住民及び本議連の念願である岩槻・蓮田以北への延伸を早期に実現すること
2. オリンピック開催都市にふさわしいおもてなしができる環境を整備するため、埼玉スタジアム駅(仮)まで早急に延伸すること

埼玉県議会地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 会長 小島 信昭

市議会地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 国土交通大臣要望(H25.12.25)

(抜粋)

1. 地域住民の念願である地下鉄7号線の先行整備区間である岩槻までの延伸を早期に実現すること
2. 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに、埼玉スタジアム駅までの延伸を進めること
3. 延伸事業がよりスムーズに進められるよう、国からの財政支援の強化を含めた新しいスキームを検討し、環境整備に取り組むこと。

さいたま市議会地下鉄7号線延伸事業化特別委員会 委員長 青羽 健仁

地下鉄7号線延伸検討委員会委員等へのヒアリング

■地下鉄7号線延伸検討委員会委員へのヒアリング(H25.12)

- ・平成23年度に県と共同で委員会を開催。採算性等を算定。提言をいただく。今回、各委員に現状を報告し、ご意見、提案等をいただいた。

【委員一覧】

(敬称略)

- 元 地下鉄7号線延伸検討委員会 委員長 高松 良晴
- 運輸政策研究機構 調査室 主席研究員 伊東 誠
- 東京理科大学 理工学部 土木工学科 教授 内山 久雄
- 東急電鉄 都市開発事業本部 ビル事業部 計画部 統括部長 太田 雅文
- 東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 経済学 准教授 二村真理子

【提案等】

- 感想:浦和美園は進んできた。成長目標を定めて実行していることはよい。
- 提案:快速バスは、結果が目に見えるため、利用者増を。観光やスポーツのネットワーク化。
　　インフォメーションセンターでの住宅等の情報提供。美園の住民へ選んだ動機付け調査。
　　イオンと連携。SRの急行、追越運転。一日切符のデザイン。ウォーキングでは酒造元を組
　　入れる。パーク&ライド、高速バス。イベントのメール配信。保育施設整備。単線整備など

■東京大学 都市工学専攻 瀬田准教授へのヒアリング(H25.11)

- ・平成25年度みそのウイングシティまちづくり勉強会で講演。今回、ご意見、提案等をいただいた。

【提案等】

- 提案:人口減少、少子高齢化で、まちの優劣が進む。小さな工夫の積み重ねでよい市街地に。
　　まちづくり勉強会のような住民が話合う場が重要。住民自らが運営できるシステムづくり。
　　ハード、ソフトの核が必要。震災後、防災、防犯、環境に关心が高い。付加価値を検討。

⇒いただいた提案等は、成長・発展の取組や来年度の採算性の再算定の参考とします。

浦和美園～岩槻地域 成長・発展の取組

浦和美園～岩槻地域成長・発展の取組状況

(1) 浦和美園駅周辺のまちづくりの進捗について

目標：浦和美園の成長・発展〔定住人口・交流人口の増加〕

住民の増加

企業等の立地

来訪者の増加

①情報発信の強化
〔情報発信拠点施設の設置、ウェブサイト、リーフレット〕

②企業・教育機関誘致
〔企業等訪問、アンケート、現地見学会・案内 等〕

③スマートホーム・
コミュニティの推進
〔総合特区事業〕

④まちづくり勉強会
〔まちづくり機運醸成のための勉強会／講演イベント〕

⑤土地利用促進／
ブランド化戦略調査
〔土地利用、まちのコンセプト、開発誘導策等の調査検討〕

⑥スポーツイベント
〔さいたまシティカップなど
スポーツイベント誘致・開催〕

⑦埼玉高速鉄道
(経営支援)

⑧快速バス
(浦和美園～目白大学～岩槻)

⑨無料シャトルバス
(浦和美園↔岩槻のイベント)

⑩みそのウイングシティの基盤整備
〔H25：主要道路や西口駅前広場の供用開始、一部の大画地の整備完了 等〕

◇展開図



片 側	
赤	施工地区界
黄	一般住宅
黄	計画住宅
黄	共同住宅街区
绿	集合施設
红	公営的施設
棕	都市緑地施設
红	港合施設
黄	沿道施設
黄	教育施設
蓝	産業施設
黄	駐道施設
河	河川・水路
青	河川管理用道路
黑	調節池
绿	公園・緑地
灰	都市計画道路
绿	歩行者専用道路
紫	寺社・墓地等
蓝	鉄塔・ポンプ場
红	計画施設
绿	株園・汽船旗



みそのウイングシティ

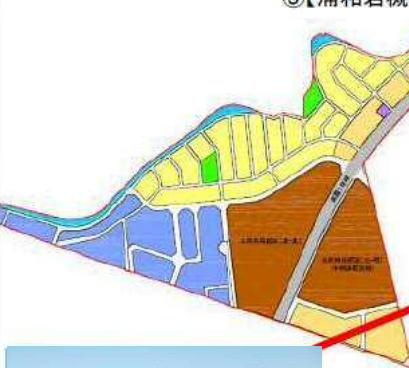
【みそのウイングシティ 各地区名[面積:施行予】】



⑤【岩槻南部中央通り線】



③【浦和岩槻線】



④【調節池(大門上池)】



①【美園3号線橋梁】



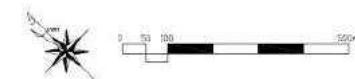
【浦和美園駅東口】



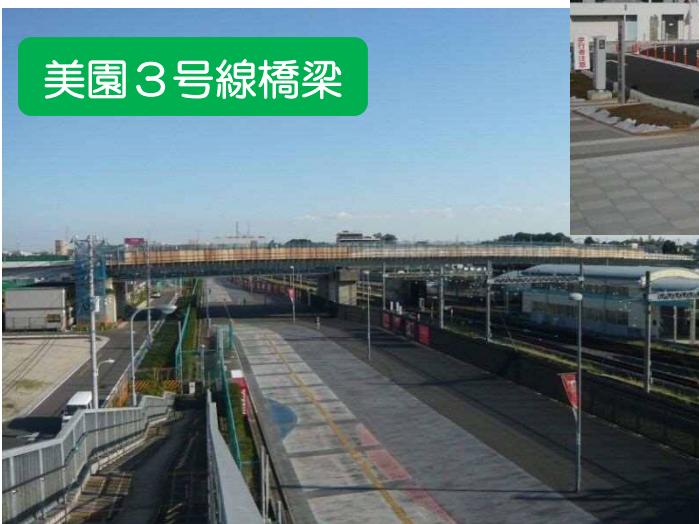
【調節池(大門下池)】



②【浦和美園駅西口】



『みそのウイングシティの整備状況』について(H25.12時点)



(2) 岩槻駅周辺地区のまちづくり・観光政策について

目標：岩槻駅周辺の成長・発展〔交流人口の増加〕

来訪者の増加

観光機能強化

歴史・文化の活用

①岩槻まちづくり
マスタープランの推進
〔H25：アクションプランの策定〕

②岩槻駅舎整備
〔岩槻駅舎整備推進〕

③観光案内所整備
〔観光案内所設置に向けた設計〕

④人形文化の拠点整備、
観光交流機能の整備
〔(仮称)岩槻人形会館開館準備、
旧区役所敷地の利用検討〕

⑤観光PR事業
〔パンフレット充実、観光ボランティアガイド会の育成・活用〕

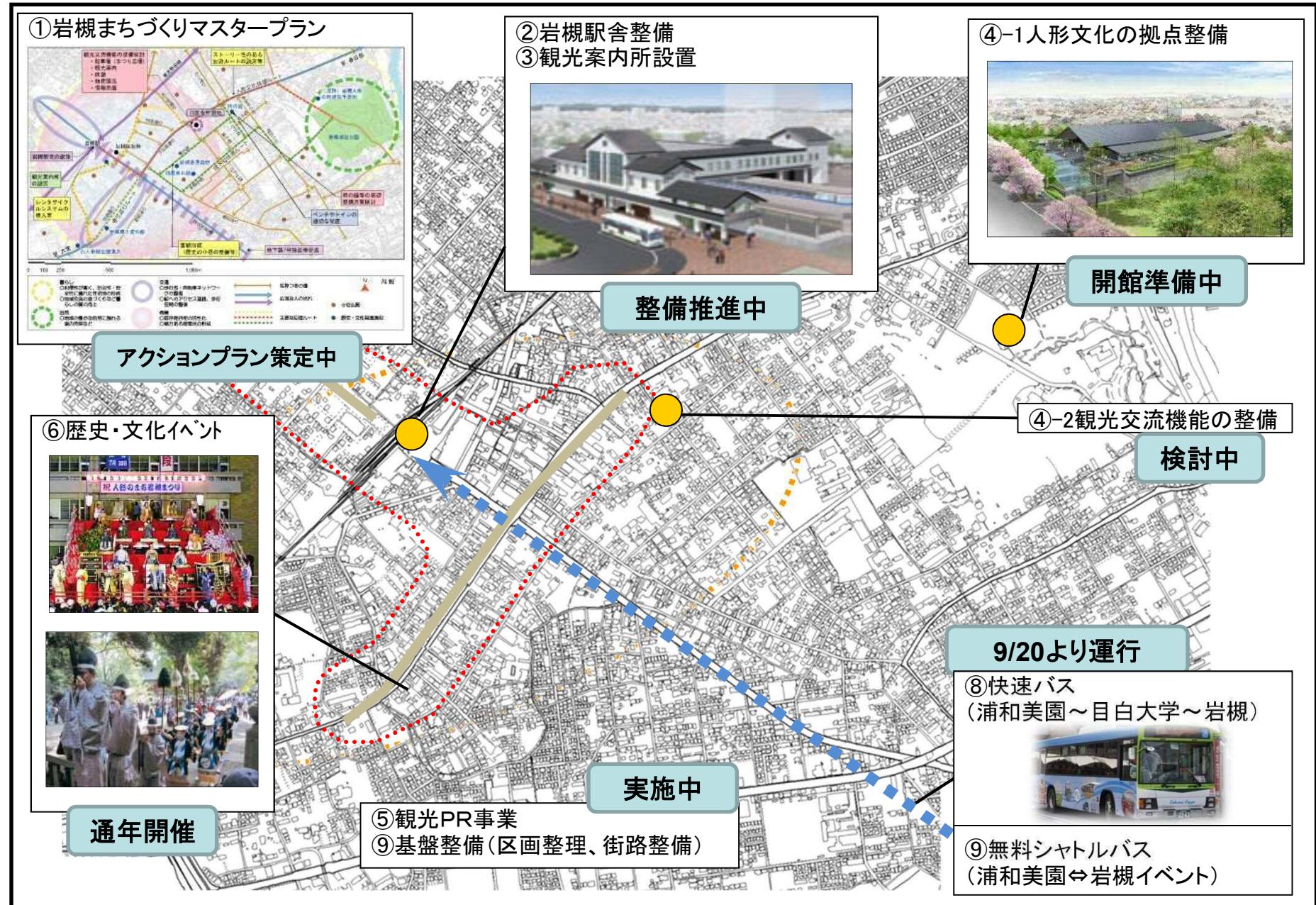
⑥歴史・文化イベント
〔城下町岩槻鷹狩り行列、
人形のまち岩槻まつりなど〕

⑦快速バス
(浦和美園～目白大学～岩槻)

⑧無料シャトルバス
(浦和美園↔岩槻のイベント)

⑨基盤整備
〔岩槻駅西口土地区画整理事業、
街路整備推進〕

◇展開図



企業・教育機関等誘致の取組状況

東部地域・鉄道戦略室

1. 取組方法

①企業・教育機関等訪問
(23年度より継続的に実施)

②アンケート調査
(24年度 南北線沿線にて実施)

③沿線開発動向調査
(24年度 SR沿線開発事業者ヒア)

④他機関との連携
(市 都市局・経済局・UR等)

2. 企業・教育機関等の反応

●企業・教育機関等の意向

- 立地に关心をもつ企業・教育機関あり
(浦和美園・中間部)
- 現地案内等を実施中

●SR沿線の市場動向(開発事業者の認識)

- TXに比較してSR沿線のイメージは格段に弱い
- 消費増税を見据えた購買意欲はまだ鈍い

3. 課題

- 具体的に紹介できる区画(種地)が少ない
- 立地を誘導するインセンティブの検討
- 地権者による土地活用、共同利用の誘導
- 土地利用(地区計画等)の変更調整
- 市街化調整区域での開発可能性等の検討

4. 用地紹介案件

●岩槻南部新和西地区

公益的施設用地

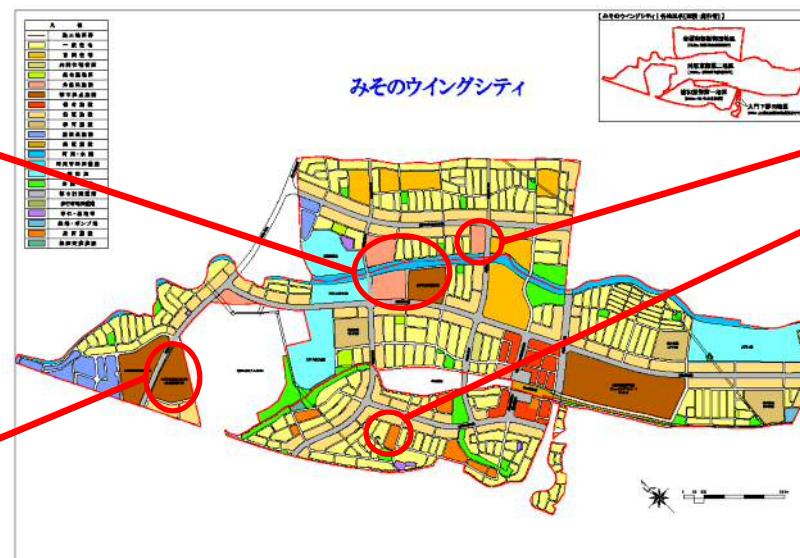
●浦和東部第二地区

公益的施設用地、
都市拠点施設用地

⇒教育機関、企業等4法人へ紹介

●浦和東部第二地区

都市拠点施設用地
⇒企業等1法人へ紹介



●岩槻南部新和西地区

公益的施設用地

●浦和東部第一地区

保留地

⇒教育機関1法人へ紹介

『浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン』平成25年度推進状況

43方策79事業のマネジメント

■マネジメントシートによる各所管の評価

(1)計画を上回って達成 6事業

- ①さいたまシティカップ
- ②スポーツコミュニケーション事業
- ③総合特区情報発信事業
- ④人形のまち岩槻まつり
- ⑤観光案内人の育成・活用
- ⑥てくてく見沼

(2)計画を概ね達成 28事業

(3)計画推進中 42事業

(4)計画未実施 2事業

- ①観光施策の推進体制の検討(岩槻駅周辺)
- ②地権者の土地活用に対する支援(岩槻駅西口土地区画整理事業)

(5)計画廃止 1事業

- ①クイズラリー「来て見て見沼田んぼファイナルー見沼たんぼを歩いてクイズに答えよう！－」

課題

- 計画を達成(「上回って達成」及び「概ね達成」の計)が4割超。
一方、未実施、廃止となっているものがある。
- 平成26年度は、地下鉄7号線延伸の採算性の再算定を行うことからも
引き続き、達成に向けて積極的な推進が必要。

『浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン』達成状況

地区	評価指標	概ね5年後の目標値	検証データ	基準値	実績 (前年度対比)	備考 概ね5年後の目標値の補足
浦和美園駅周辺	定住人口	約4千人超増	住民基本台帳 (対象年度ー前年度)	約4,100人 ※平成24年1月12日時点	約5,000人 (約900人増) ※平成26年1月1日現在	みそのウイングシティ内の現住人口約4,100人を概ね5年後には、約8,100人を超える人口とする ※26年度末約5,100人目標
	商業・業務施設来訪者	約8千人超増	来訪者数	-	誘致推進中	新規に約8千人超増の来訪者が見込める施設を誘致する
	教育施設学生	約千人超増	新規立地大学・専門学校等学生数	-	誘致推進中	新規に約千人超増の学生等が見込める教育施設を誘致する
	イベント開催	約3万人超増	開催イベント入込客数	約516,600人 ※平成23年度 県公園緑地協会・SR調	約451,100人 (約-65,500人減) ※平成24年度 県公園緑地協会・SR調	新規イベント等により約3万人超増の来訪者増を図る
	スポーツ振興	サッカー観客回復 (H23約2.9万人 ⇒4.2万人/試合)	埼玉スタジアム 1試合平均観客動員数	約29,000人 ※平成23年 埼玉県交通政策課調	約33,000人 (約4,000人増) ※平成24年 埼玉県交通政策課調	サッカー観客数(Jリーグ浦和レッズ戦)を過去の平均観客動員数約4.2万人/試合に回復する
岩槻駅周辺	観光機能拠点	約7万人超増	観光機能拠点 来訪者数	-	拠点施設整備推進中	新規に観光機能拠点施設を整備し約7万人超増の来訪者増を図る
	イベント開催	約3万人超増	開催イベント 入込客数	約451,000人 ※平成24年3月31日 岩槻区観光経済室調	約459,000人 (約8,000人増) ※平成25年3月31日 岩槻区観光経済室調	新規イベント等により約3万人超増の来訪者増を図る

成長目標達成等に関する課題等

■成長目標に関する課題

- ①浦和美園駅周辺の交流人口増(施設誘致)を着実に進める必要あり。
造成が進み、保留地処分時期も迫っている。処分先を確定させる必要あり。
⇒商業・業務施設、教育施設等の誘致の実現を図る。

- ②浦和美園駅周辺の交流人口増(イベント)を着実に進める必要あり。
⇒イベント開催の実現を図る。

- ③岩槻駅周辺の交流人口増（観光機能拠点）を着実に進める必要あり。
⇒拠点施設整備の促進を図る。

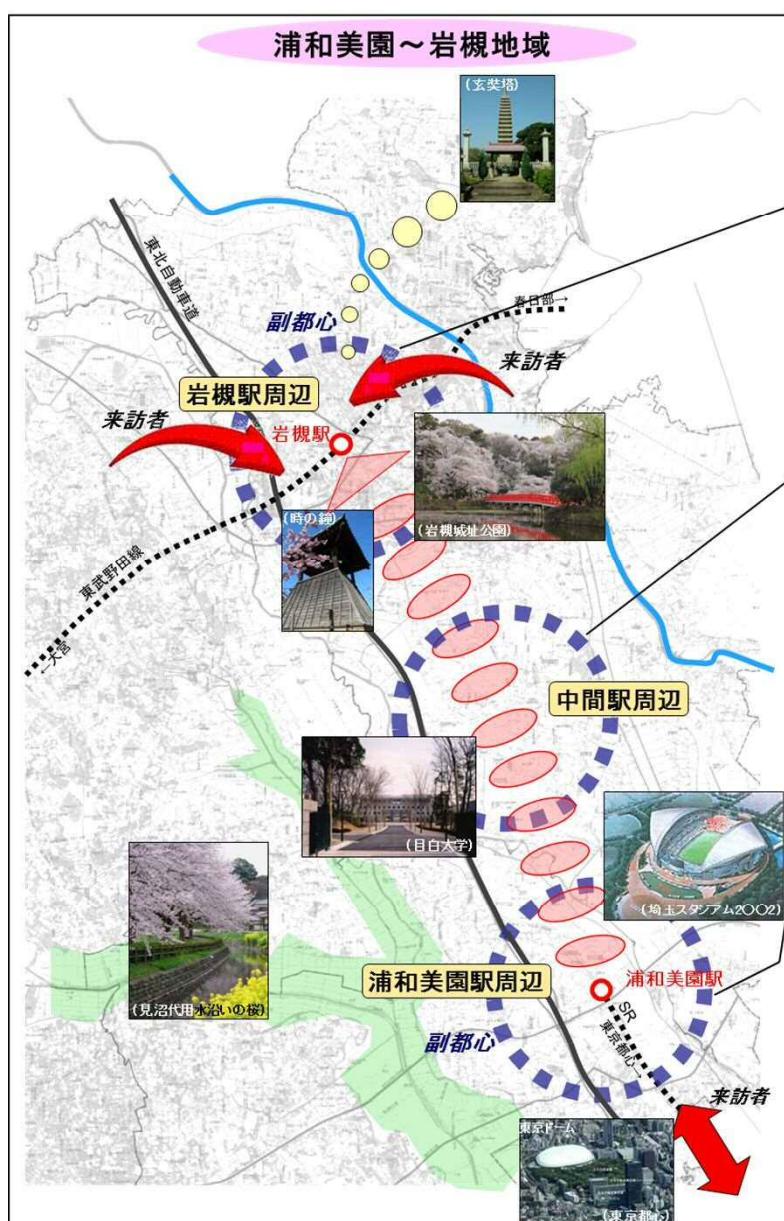
□その他、推進が求められる事項

- ①埼玉スタジアム2002を含めたスポーツ、健康のブランド化を図る具体策
- ②地区全体として、環境、エネルギーのブランド化を図る具体策
- ③憩い空間、親水空間整備の具体化(ジョギング、サイクリングロードなど)

議事(2)

平成26年度に推進する方策について

浦和美園～岩槻地域の成長・発展に向けて[地域の目指す方向性・重点方策に関する主なH26年度予算事業]



岩槻駅周辺

【方向性】歴史・文化で観光機能の強化を図る

- ①岩槻まちづくりマスタークリエイションプラン(「歴史・文化」に基づいたまちづくりの実現)
- ②観光機能拠点の整備(人形文化の拠点整備、観光交流機能の整備)
- ③駅周辺環境整備(駅舎整備、観光案内所、バリアフリー重点化)
- ④観光施策の推進体制強化(観光施策を総合的に取り扱う体制の構築)
- ⑤歴史・文化にちなんだイベントの開催

※H26一般会計予算案(千円)

・まちづくりアクションプラン(まちづくり総務課)	5,000
・(仮称)人形会館整備事業(文化施設準備室)	23,308
旧区役所管理事業<解体工事>(区政推進室)	390,837
旧区役所敷地利用計画策定(まちづくり総務課)	8,000
・駅舎整備・観光案内所含む(岩槻まち事務所)	2,334,216
都計道整備(道路計画課)	450,577
・推進体制の検討(岩槻区観光経済室)	
・イベントの開催(岩槻区観光経済室)	8,000
※区画整理事業の推進(岩槻まち事務所)	662,127

中間駅周辺

【方向性】地域資源の活用(自然・農業、目白大学)を図る

- ①目白大学との連携(公開講座、地域交流の拡充)
- ②農業による交流(農地、遊休地を活用した農村交流)
- ③地区の魅力を創出する施設誘致(例:教育、医療、健康、スポーツ機関等)
- ④新駅設置にあわせたまちづくり方策の検討

・目白大学公開講座継続(目白大学)	
・市民方策支援補助金(東部戦略室)	1,500の内数
・市街化調整区域内の誘致検討(期成会)	6,000の内数

浦和美園駅周辺

【方向性】「スポーツ、健康+環境・エネルギー」のブランド化を図る まちづくりを促進する(定住・交流人口増)

- ①地区的ブランドイメージ戦略(スポーツ、健康、環境・エネルギーのブランド化)
- ②地区の魅力を創出する施設誘致(例:教育、医療、健康、スポーツ機関等)
- ③土地活用促進のための柔軟な対応(土地利用計画の見直し・インセンティブの検討)
- ④総合特区効果の波及
(スマートホーム・コミュニティを核とした環境・エネルギーのまちづくりの進展)
- ⑤駅前複合施設(図書館、支所機能、農産物直売機能等含む)
- ⑥(仮称)プロデュース戦略として総合的に推進
- ⑦埼玉スタジアム2002等の活用
- ⑧スポーツのブランド化を図るイベントの開催

・情報発信(ウェブサイト)運営委託(東部戦略室)	2,552
土地利用促進・ブランド化戦略調査(同上)	6,924
・まちづくり勉強会(東部戦略室、浦まち、UR)	210
企業アンケート(産業展開推進課)	2,713
企業訪問・企業見学会(東部戦略室他)	
・超小型モビリティ推進事業(環境未来課)	39,875
総合特区情報発信(同上)	584
・(仮称)アーバンデザインセンターみその整備事業(同上)	18,202
駅前複合公共施設整備(コミュニティ推進課)	1,932,714
・インフォメーションセンター(東部戦略室)	10,902
・スポーツコミッション事業(観光国際協会)	34,208の内数
※区画整理事業の推進(浦東まち事務所他)	6,348,204

延伸線沿線全体

- ①地域の魅力を創出する施設誘致(例:教育、医療、健康、スポーツ機関等)
- ②施設の立地を想定した開発可能性の検討(市街化調整区域)
- ③浦和美園駅～岩槻駅間快速バス(目白大学付近を経由)
- ④緑区、岩槻区、見沼区が連携するイベントの開催

・市街化調整区域内の誘致検討(期成会)	6,000の内数
企業アンケート(産業展開推進課)	2,713
・快速バス運行(東部戦略室)	30,600
・日光御成道ウォーキング(3区+東部戦略室)	1,500の内数

市民組織

- ①地下鉄7号線延伸事業化推進期成会

・期成会への補助金(東部戦略室)	6,000
------------------	-------

鉄道関係等

- ①延伸線整備基金
- ②埼玉高速鉄道競争力・収益力向上検討
- ③コスト縮減・資金調達方策調査

・延伸線基本計画調査(東部戦略室、埼玉県)	12,000
-----------------------	--------

方策のマネジメント

- ①各種方策の効果測定とPDCAサイクルによる推進
- ②移動実態調査(沿線地域の移動増加状況を把握)
- ③需要予測、採算性、B/Cの再算定の実施

・浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議	
・成長・発展プラン推進支援業務(東部戦略室)	5,795
・移動実態調査(東部戦略室)	9,000
・延伸線基本計画調査(東部戦略室、埼玉県)	12,000

■「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」予算の概要(一般会計当初予算)

平成26年度予算

43方策 79事業 (市予算を要しない21事業を含む)

【全体】		前年比 約78%増	※H25年度7,032,513千円
◎合計 12,496,878千円			
内訳	国庫補助金、県負担金等	3,795,318千円	
	市債	5,590,846千円	
	一般財源	3,110,714千円	

H26年度 新規事業

H25年度新規予算一覧(地区別順)

【浦和美園駅周辺】

- | | | |
|--------------------------|----------|----------------|
| ①(仮称)アーバンデザインセンターみその整備事業 | 18,202千円 | (環境未来都市推進課) |
| ②超小型モビリティ推進事業 | 39,875千円 | (同上) |
| ③大門下野田特定土地区画整理事業(市) | 31,454千円 | (浦和東部まちづくり事務所) |

【延伸線沿線全体】

- | | | |
|---------------------------------|-------|--------------|
| ④埼玉高速鉄道利用促進事業負担金 | 505千円 | (東部地域・鉄道戦略室) |
| ※県、川口市と連携しSR沿線の情報をデジタルサイネージ等で提供 | | |

【方策のマネジメント】

- | | | |
|---------------------------------|---------|--------------|
| ⑤浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン推進支援業務 | 5,795千円 | (東部地域・鉄道戦略室) |
| ※成長・発展プラン次期(H27～29)方策の策定等に関する調査 | | |

合計 95.831千円

H26年度 主なハード事業

H26年度主なハード事業予算一覧(地区別順)

【岩槻駅周辺】

- | | |
|----------------------|-------------|
| ①岩槻駅駅舎整備 | 2,334,216千円 |
| ②岩槻駅西口土地区画整理事業 | 662,127千円 |
| ③岩槻駅周辺街路整備 | 450,577千円 |
| ④(仮称)岩槻人形会館整備事業 | 23,308千円 |
| ⑤区役所管理事業(旧岩槻区役所解体関係) | 390,837千円 |

【浦和美園駅周辺】

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| ⑥浦和美園駅周辺区画整理事業(6地区) | 6,348,204千円 |
| ※上記、新規事業の「大門下野田特定土地区画整理事業(市)」 | |
| 31,454千円を含む | |
| ⑦(仮称)浦和美園駅東口駅前複合公共施設整備 | 1,932,714千円 |

合計 12,141.983千円

平成25年度予算

43方策 79事業 (市予算を要しない20事業を含む)

【全体】		前年比 約32%増	※H24年度5,340,062千円
◎合計 7,032,513千円			
内訳	国庫補助金、県負担金等	1,590,197千円	
	市債	2,852,999千円	
	一般財源	2,589,317千円	

H25年度 新規事業

H25年度新規予算一覧(地区別順)

【岩槻駅周辺】

- | | | |
|-----------------------------|----------|--------------|
| ①(仮称)岩槻・城下町まつり事業 | 10,000千円 | (岩槻区観光経済室) |
| ②スマートホームコミュニティ 保留地のアイデアコンペ等 | 28,785千円 | (環境未来都市推進課) |
| ③総合特区情報発信・収集事業 | 4,814千円 | (同上) |
| ④(仮称)浦和美園まちづくりインフォメーションセンター | 12,876千円 | (東部地域・鉄道戦略室) |
| ⑤(仮称)浦和美園～岩槻地域土地利用促進調査 | 4,750千円 | (同上) |
| ⑥(仮称)浦和美園地区ブランドイメージ戦略調査 | 1,900千円 | (同上) |
| ⑦(仮称)開発促進マーケティング勉強会 | 500千円 | (同上) |
| ⑧情報発信運営委託業務(ウェブサイト運営) | 2,850千円 | (同上) |

【延伸線沿線全体】

- | | | |
|-------------------------------|----------|--------------------------|
| ⑨(仮称)日光御成道ふれあいウォーキング 3区連携 | 1,500千円 | (岩槻区コミュニティ課他)
実行委員会形式 |
| ⑩目指せ日本一! サクラサク見沼田んぼプロジェクト推進事業 | 6,000千円 | (みどり推進課見沼田圃政策推進室) |
| ⑪浦和美園～岩槻間快速バス | 28,025千円 | (東部地域・鉄道戦略室) |

【方策のマネジメント】

- | | | |
|------------------|----------|------|
| ⑫浦和美園～岩槻地域移動実態調査 | 10,000千円 | (同上) |
|------------------|----------|------|

合計 112.000千円

H25年度 主なハード事業

H25年度主なハード事業予算一覧(地区別順)

【岩槻駅周辺】

- | | |
|----------------|-------------|
| ①岩槻駅駅舎整備 | 1,579,455千円 |
| ②岩槻駅西口土地区画整理事業 | 539,190千円 |
| ③岩槻駅周辺街路整備 | 486,345千円 |

【浦和美園駅周辺】

- | | |
|---------------------|-------------|
| ④浦和美園駅周辺区画整理事業(5地区) | 4,025,756千円 |
|---------------------|-------------|

合計 6,630.746千円

平成26年度 新規事業(抜粋)

『(仮称)アーバンデザインセンターみその』について

取組方針

さいたま市東部地域の成長と発展を推進するため、平成27年度末までに、情報発信機能を備えた産学官連携の(仮称)アーバンデザインセンターみそのを設立します。

●H26 機能決定

- ①みそのウイングシティの成長・発展に向けた、まちづくりの方向性の検討
- ②まちづくりの方向性を踏まえ、(仮称)アーバンデザインセンターみそのの産学官の連携方法、活動内容、管理運営体制などの機能の決定
- ③スマートエネルギーを地域全体へ普及・促進するため、積極的な情報発信

●H27 設立

地域のまちづくりの推進の拠点として、また、スマートエネルギーに関連するPR拠点及び地域の移動を担う超小型モビリティの実証拠点として、民間活力も活用して設立

【浦和美園駅を中心とした
地域交流拠点イメージ】



美園地区全域への波及

設置予定地

『超小型モビリティ導入促進事業』について

目的 交通の低炭素化、高齢者・子育て世代の移動支援のため、新しい交通システムとしての超小型モビリティの活用方法等を、社会実験を通じて検証する。

推進体制

さいたま市小型電動モビリティ
利活用推進協議会

・株式会社本田技術研究所
・本田技研工業株式会社
・さいたま市

国土交通省(自動車局環境政策課) 超小型モビリティ導入促進事業

- 先導的な取組を行う地域の計画を認定。
- 超小型モビリティを**軽自動車として認定**。
- 調査費・車両導入費等の**1/2を国が補助**。

【スケジュール】

平成25年度

6月28日
2月以降

事業計画認定
市内で実験的に走行

平成26～27年度

大宮・浦和美園で社会実験

大宮駅周辺でのシェアシステム
による渋滞緩和と回遊性向上

新たなモビリティ開発×まちづくり連携

国内初

重点地区1.
大宮駅周辺

- ・市役所/大宮区役所業務利用
- ・公用車への導入・乗換検討

使用する超小型モビリティ



MC-β (エムシー・ベータ)

超小型モビリティと連携した
スマートコミュニティの整備

重点地区2.
浦和美園地区

『大門下野田特定土地区画整理事業』について

事業名

さいたま都市計画事業 大門下野田特定土地区画整理事業

施行地区

緑区大字下野田字宿畠、字稻荷原の各一部、大字大門字鶴巻の一部

計画人口

約360人、人口密度100人/ha



位置図(広域)



位置図(付近拡大)

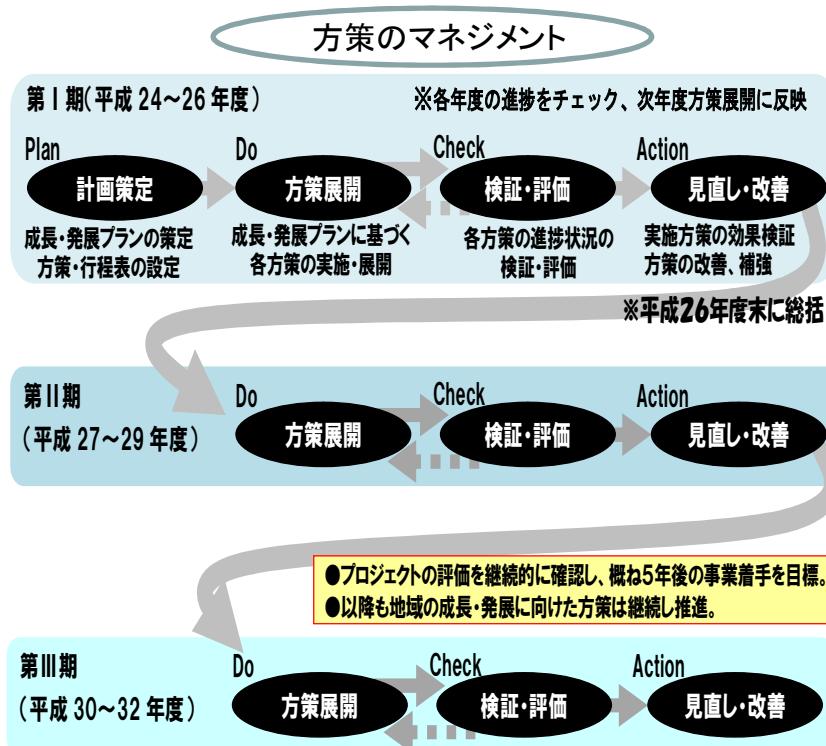
浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 スケジュール

■平成26年度 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 年間スケジュール(案)

- ・「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」I期(H24～26)の総括として、採算性の再算定を実施。
- ・成長目標の達成に向けて、一層の努力を図る。

	年度当初	中間	年度末
推進会議 作業部会 (※合同、又は 個別開催)	○第1回 ・年度当初方針 ・方策の重点化	適宜開催	○年度最終回 ・再算定結果報告 ・第Ⅱ期方策策定

※平成26年度方策の着実な進行管理とともに、
成長目標の着実な達成に向け、Ⅱ期方策案を検討。



成長目標(スケジュール)

地区	評価指標	概ね5年後の 目標値	検証データ	年度スケジュール						
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	
浦和美園駅周辺	定住人口*	約4,000人超増	住民基本台帳 (対象年度ー前年度)	魅力発信	約1,000人超増			約2,000人超増	約3,000人超増	約4,000人超増
	商業・業務 施設来訪者	約8,000人超増	来訪者数		誘致活動					約8,000人/日超増
	教育施設 学生	約1,000人超増	新規立地大学・ 専門学校等学生数		誘致活動					約1,000人超増
	イベント 開催	約30,000人/年 超増	開催イベント 入込客数	誘致活動				約30,000人/年超増		
	スポーツ 振興	サッカー観客回復 H23:約29→42万人試合	埼玉スタジアム 1試合平均観客動員数	誘致活動				サッカー観客回復約29,000人/試合⇒約42,000人/試合		
岩槻駅周辺	観光機能 拠点	約70,000人/年 超増	観光機能拠点 来訪者数		拠点整備					約70,000人超増
	イベント 開催	約30,000人/年 超増	開催イベント 入込客数	企画・拡充	約20,000人超増					約30,000人超増
浦和～岩槻間	地域連携の進展	日白大学との連携 農業交流	日白大学公開講座 地域イベント入込客数	企画・調整				公開講座開催・地域イベントによる交流人口増		
	公共交通利用促進 による移動量増	鉄道利用者増 バス利用者増	鉄道・バス乗客数	検討・調整				鉄道・バスの利用者増		

今後の地域の成長・発展と鉄道延伸の流れ

浦和美園～岩槻地域の成長・発展の実行

①定住人口増加
のための行動

②交流人口増加
のための行動

浦和美園地区の住民の増加

手段:まちづくり推進、施設の誘致、
イベントの開催

岩槻の観光客増加、浦和美園の観光客、通勤・通学増加

鉄道の成長・発展の実行

③埼玉高速鉄道
利用促進・支援

延伸線の検討
(採算性、B/C)

乗車人員の増加、経営の安定

①、②、③の成果で、採算性30年、
 $B/C > 1$ をクリアし鉄道事業の申請

事業化へ

・首都圏全体の成長・発展への貢献
・さいたま市全体の成長・発展
・浦和美園～岩槻地域＆鉄道の成長・発展

H24

H25

H26

成長・発展プランⅠ期推進

H27

H28

H29

成長・発展プランⅡ期推進

H30以降継続
プランⅢ期以降推進

◆採算性等
の再算定①

◆採算性等
の再算定②

★H29世界盆栽大会

★H32オリンピック 26

第3回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 日 時：平成26年1月31日（金）10：00～11：10

2. 会 場：さいたま市役所 4階 政策会議室

3. 出席者：（座長）清水市長、（副座長）木下副市長、遠藤副市長

（委員）技監、政策局長、財政局長、市民・スポーツ文化局長（代理：スポーツ文化部長）、環境局長、経済局長（代理：観光政策部長）、都市局長（代理：都市計画部長）、建設局長、見沼区長、緑区長、岩槻区長

4. 議事概要

（1）あいさつ

- ・地下鉄7号線の延伸については、一昨年の10月1日に「検討」段階から「実行」段階に移行し、以来、各局区の横断的な連携のもと、美園から岩槻までのこの地域の成長・発展に向けた取組を着実、且つスピーディーに実行していただき感謝する。
- ・本年度、みそのウイングシティの区画整理においても主要な幹線道路が完成した。また、昨年は、岩槻区・見沼区・緑区の3区連携してのウォーキングイベントや区制10周年記念事業としての岩槻鷹狩り行列などの開催では大変多くの参加者があり、人の交流、にぎわい創出につながった。しかしながら、まだまだプランに掲げた定住人口、交流人口の増といった成長目標の達成には努力する必要がある。
一日も早い地域の成長目標の達成に向け取り組んでいただきたい。

（2）事務局より議事1「浦和美園～岩槻地域成長発展プラン」の進捗状況と課題について説明。

- ・地域の成長・発展に関する最近の動向、浦和美園駅周辺のまちづくりの進捗、岩槻駅周辺地区のまちづくり・観光政策、「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」の進捗と達成状況、課題等について概要を説明。

（3）議事1に関する意見交換（委員等の発言）

○浦和美園駅周辺での基盤整備の状況について

- ・事業進捗率（年度末事業費ベース見込み）として浦和東部第一地区約62%、浦和東部第二地区約84%、岩槻南部新和西地区約82%であり、造成に関しては1次造成が概ね終了し、順次2次造成に入る。予定通り事業進捗は図られている。
- ・浦和美園駅西口が9月に開設、11月には路線バスが西口から発着している。
- ・道路については、S Rを横断する美園3号線の橋梁部が完成し、最後の表面仕上げ工事を今後発注予定である。取付道路もあり6月頃には開通予定である。
- ・昨年12月11日にカインズホームが開店した。また、センターフィールド浦和美園の東側には、同規模のマンションの建設が予定されると伺っている。

○岩槻駅周辺での基盤整備の状況について

- ・駅舎整備については、仮駅舎が供用開始している。
- ・岩槻駅西口土地区画整理事業については、家屋移転が多い地区であり、積極的に移

転を進めているところである。

○スマートホーム・コミュニティの進捗状況について

- ・浦和東部第一地区内の第2～5保留地の造成に合わせて、100戸程度のスマートホーム・コミュニティをつくる予定である。政策局、都市局と三局連携を密にし、区画整理事業の進捗を踏まえ準備を進めている。
- ・アイデアコンペに向け、現在準備中であり、(仮称)アーバンデザインセンターみそのに設置するエネルギー・マネジメントシステムの機能、浦和美園全体のエネルギーの活用などについて提案いただく予定である。

○岩槻駅周辺地区の観光政策について

- ・40年以上続いている人形供養祭や38回となる岩槻まつりなど長い歴史のあるイベントの中に、新規として鷹狩り行列を開催した。これまであった催事に焦点を合わせ、11月3日に他のイベントと連動させて鷹狩り行列を行った。
- ・イベントは集客を考慮し、いろいろなところで同時期に開催できればと考えている。
- ・2月にはアートフェスティバル、まちかど雛めぐりも長期間にわたり開催される。この時期に岩槻に行けば何らかのイベントを実施していたり、おいしいものが食べられたりするというイメージを持っていただけるよう、工夫していきたいと考えている。
- ・鷹狩り行列に限らず、同じイベントを繰り返していると飽きられることがあるため、例えば岩槻まつりと連動した開催や、時期の見直しについて、関係団体のご意見をお聞きしながら調整しようと考えているところである。
- ・観光政策については、今後も政策局、経済局、都市局などからバックアップをお願いする。

○浦和美園駅周辺の施設の誘致について

- ・ウイングシティの施設誘致に際し種地が少ない。区画整理事業が進んでいる中で、区割りの変更は難しいとは思うが、土地利用を誘導できる見直しが考えられないか。

○みそのウイングシティの土地利用の見直しについて

- ・ウイングシティの地区計画は、区画整理事業の将来ビジョンに合わせて都市計画で定めている。誘致の観点で、業務や商業目的の用地を増やすためには、事業計画、将来ビジョンの変更に伴い、追認する形であれば手続き上は可能である。また、変更には、施行者がどうあるべきかを考え地元の合意を得て進める必要がある。
- ・ウイングシティのまちづくりに沿うように進めたい企業など、例えば、スポーツに関する事業者などの話があった場合に受けとめたいと考える。市から早めに問題提起し、都市再生機構と調整し進めていくべきである。
- ・社会情勢が変わる中で色々な特徴を加えようと市も取組んでいる。地権者が土地をどう活用するのかが重要であり、市と都市再生機構、地元の皆さんのが入った勉強会も始めている。また、土地利用の方向性については、具体的な立地を想定して検討しないと絵に描いた餅になってしまう。勉強会を活用し検討したい。
- ・オリンピック開催も決まりチャンスと受け止め、合意形成が基本としつつ、スピード

ド感を持って都市再生機構と協議を進め、誘致に対応すべきと考える。

(4) 事務局より議事2「平成26年度に推進する方策について」説明。

- ・「浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン」予算の概要、平成26年度新規事業、浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議スケジュールの概要を説明。

(5) 議事2に関する意見交換（委員等の発言）

○浦和美園駅周辺での基盤整備について

- ・浦和美園駅周辺の区画整理事業の3地区の他に、面積約3.6haの大門下野田特定土地区画整理事業を市施行として事業化することを考えている。現在、国へ事業認可申請中であり、今年度中には事業認可をいただき事業をスタートさせる予定である。

○岩槻駅周辺地区について

- ・平成24年度に岩槻まちづくりマスターplanを策定し、今年度はアクションプランを策定予定である。アクションプランでは、具体的に市民に対し見える化を進めて総合的に事業を示し、着実に進めていく考えである。

○超小型モビリティ事業について

- ・総合特区の中で、低炭素型パーソナルモビリティの普及を目指し市内全域で実施していく。超小型モビリティをホンダと提携し、2月から市に2台導入し、大宮区役所と環境局の職員を中心に使用を開始する。新年度以降、順次導入台数を増やし、計11台導入する。実証実験場所・内容について、2つの重点地域として、大宮駅周辺ではカーシェアリングを、浦和美園駅周辺では、パーク＆ライドなどによる、子育て世代や高齢者を対象とした生活向上の実証実験を始めていく。

- ・浦和美園地域では、都市機構等とヒアリングを重ね適地を検討中である。駅から距離がある場所での車両基地の検討や、アーバンデザインセンターの機能との連携を考えたい。浦和東部第一地区での先行的なスマートホーム・コミュニティの構築とも組み合わせ、自宅から駅までの移動など手軽な地区内の移動も踏まえて、実証実験を行っていく予定である。

○埼玉スタジアム2002の活用について

- ・今年度は、さいたまシティカップを開催した。3年ぶりの開催であること、イングランドプレミアリーグのアーセナルを招へいできしたことなどで注目され、4万人を超える観客に来ていただき、交流人口増に寄与できたと考えている。
- ・一方、浦和レッズのホームゲーム17試合の観客動員は、2008年シーズンの1試合平均は約4万7千人、その後3年間で減少しており、2011年のシーズンは3万4千人まで減少した。その後は微増で、昨シーズンは1試合平均3万7千人、17試合の合計で約63万人の観客の動員があったとレッズから伺っている。レッズの成績により大きく影響があると思われるが、2014年のシーズンは、浦和レッズも戦力を強化すると伺っているので、観客動員は増えていくと期待している。

○東口複合公共施設整備について

- ・平成27年度の開設を予定している。この複合施設が出来上がった段階では、地元の方々も含めて交流の拠点になると期待しているところである。

○緑区（浦和美園駅周辺）の観光について

- ・浦和美園駅周辺の交流人口増について、今年度、美化ハイキングで見沼散策を実施した。今年度は11回目の開催で、毎年2,000人近くの参加があるが、3区連携ウォーキングと同じ時期、同じコースと重複していたため、参加者が762人となってしまった。ハイキングは天候にも左右される。当日は寒く、また、朝に地震があり、武蔵野線の一時運休も影響があったと考えている。平成26年度は、新たな名所をコースに組み入れながら魅力ある設定でにぎわいの創出に努めていきたい。
- ・美園地区観光農業のネットワークとして、農業政策課が力を入れており、この時期では、香りのするシクラメンを開発して、緑区役所に飾り、新聞社にも情報提供しPRを進めている。
- ・ガイドブックの中にも、散歩コースを入れている。独自で散歩やウォーキングされている方もいるが、参加者の数値が見えないのが残念である。
- ・第9回見沼田んぼキレイきれい大作戦を3月8日に自由参加型で開催するが、このような事業を実施していきながら交流人口増を目指していきたいと考えている。

○3区連携ふれあいウォーキングについて

- ・昨年はじめて開催し、652名の参加をいただいた。参加者には、お団子や飴の首飾りなど中継地点での地域の方々によるおもてなしが好評で参加者の共感を得た。
- ・来年度は、見沼区が事務局となり開催し、参加者増を目標に取組んでいく。そのためには、沿線のPRが必要であり、また、おもてなしに磨きをかけていき、楽しい、うれしいイベントにしていきたい。地域の色々な団体、特に見沼ファーム21では体験水田を実施しており、彼岸花が咲く頃は収穫の時期でもある。収穫米との関係もあるが、食べるものをふるまえると見沼田んぼのPRにもつながると考えている。
- ・また、埼玉高速鉄道の協力が必要であり、一緒になって進めていきたい。

（4）座長より会議の総括

○今後の取組方針

- (i) 平成25年度、残された期間も取組を緩めることなく引き続き推進するように。
- (ii) 平成26年度は、プランⅠ期(H24～26)の総括、及び次期プランの更新も進める年度である。採算性の再算定も予定する。平成26年度前半の取組が鍵であり、課題もあるがスピード感と実行力をもって方策を推進するように。
- (iii) 基盤整備は着実に進捗しているが、さらなる定住人口増に向けて、一層の努力を図るように。また、交流人口創出に寄与する企業・教育機関等の施設誘致、イベントの開催が課題である。重要事項として捉え、関係所管が連携して知恵を絞りながら進めるように。